

令和2年度特定非営利活動に係る事業報告

特定非営利活動法人 風

1. 事業実施の成果

今年度は全世界でのコロナウィルス感染により日本中が大変厳しい状況となり風にも非常に大きな影響がありました。

ヘルパー事業では、風の主要である外出支援が難しい状況が続いています。特に最初の「緊急事態宣言」では外出の自粛を要請されましたが障害のある方にそれを理解することは難しく感染予防に努めながら、いかにこれまでと同じような外出ができるか勉強したり工夫しながら実施していききました。

利用者の中には持病等がある方も多く、通われている中で感染者がでた施設を中心に他事業所の利用制限が出た方もあり風の利用を自粛された方も多くいらっしゃいます。そのためご家庭で閉塞感を感じたりストレスを感じている方もいらっしゃるようですが、まずは命を守ることを優先していかねばならないのでつらいところです。

「だいち」では年度当初からの新規利用者2名途中入所者1名途中転出者1名卒業生1人がいました。新しい利用者さんもそれぞれ順調にだいちの活動に馴染み楽しく活動されている様子が見られました。

テレビや SNS でコロナウィルスに関してのデマや不適格な情報も流れていたことから、正しい情報収集に努め常時ホームページに最新情報を掲載しました。また利用者にはたよりでコロナ関連の情報をお知らせし、ヘルパースタッフは会議内でコロナの感染予防や現状について学びました。

○ヘルパー事業

<居宅介護・行動援護・同行援護・移動支援>

外出を行うヘルパー事業は、ご本人の好きな場所に外出しリフレッシュすることで余暇の充実・ストレスの軽減だけでなく、ご家族の介護負担軽減に役立っています。

平日・休日ともに成人の方の利用希望が多く、特に平日の 15:00 以降と土日・祝日はご利用希望が多い傾向にあるため、余暇利用の方には利用希望日をいくつか挙げてご予約いただくようにし、風で利用日を決めさせていただいています。

新規利用の問い合わせはあるのですが、既登録者の予約で一杯の平日 15:00 以降や休日のご希望だったり、送迎車が必要だったり、ヘルパーが送迎するにはご自宅が遠いなどの理由で新規契約には至っていません。

新型コロナウイルスの流行に伴い、自主的に利用を控える方や日中通っている施設から他施設の利用を控えてほしいと言われた方などもいて、前年度に比べ利用される方は少なくなっています。また、公共交通機関の利用の可否や外出先などご家庭によってコロナ感染予防に対する意識や方針が違うため、今まで以上に保護者と相談し支援内容を決めるようにしています。

今年度の外出先は原則として県内に留めています。行き先としては、近隣の図書館やキボール等の公共施設、日用品等購入のためのショッピングセンター等での買い物、運動のための散歩のほか成田ゆめ牧場、アンデルセン公園、航空科学博物館、銚子等へ行くなどし利根川の土手で駅弁を食べたのも好評でした。感染防止に努め、トラブルもなく安全に実施することができました。

利用比率は、前年度比 21%減

<タイムケアサービス>

ほとんどがヘルパーの対象とならない長時間の車利用時間のものでした。コロナウイルス感染予防のために電車を避け車での遠出を希望される方も多かったので例年より多少増加しました。

利用比率は、前年度比減 4%増

<送迎サービス（福祉有償運送）>

今年度もヘルパーを利用される方で送迎を希望される方に送迎サービスを実施しました。コロナウイルス感染の影響により公共交通機関等での外出制限もあり、車を利用してのお出かけをされる方も増えておりましたが安全運転と利用者さんの安全確保に努めながら送迎を実施し、事故なく1年を過ごすことができました。

ご自宅以外での主な送迎先は印旛特別支援学校バス停、桜が丘特別支援学校バス停、印旛郡通所施設（バス停も含む）、千葉市内通所施設等です。

利用率は、前年比 6.2%減

○放課後等デイサービス

「だいち」

今年度の登録者数は、8名でした。7月末に1名の方の転出があり、1月に新規利用者の登録がありました。3月に1名卒業されています。

今年度は、3月に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言で外出自粛要請が出た為、すべての特別支援学校が3か月間休校になり、その間「だいち」は終日開所を実施しました。またこれにより外出、外食行事を行う事が一切出来ませんでした。

学校休校中は、コロナ感染を恐れ自宅で過ごされる利用者も多くいらっしゃいました。そのため、ご家庭で過ごされていた利用者の家庭状況の確認や訪問を実施しました。（延べ76回）

団体での外出ができないため、プログラムも利用者が飽きずに部屋で過ごせるような活動に変更しました。学校が休校の間は保護者の負担を軽減する為に、週一度支援者で給食づくりを行いました。まただいちでもクッキングやおやつ作りをいつもより多く取り入れました。

運動不足にならないようにプロジェクターダンスやポッチャ、スカーフなどの運動あそびのほかそれぞれ個別に散歩にでかけることもしました。夏休みには恒例のプールを楽しみました。また短編アニメのDVD鑑賞やフリータイムに音楽を流すなどをして気持ちの切り替えや気持ちの安定をはかり、落ち着いて活動ができるように努めました。

節句・七夕・ハロウィーン・クリスマスなど季節行事は、だいち内でおこない楽しみました。

外出自粛要請が解除になって外出はできるようになっても、ソーシャルディスタンスを保つこととマスク装着が出来ない利用者が多いため、公共施設等を利用する外出は一切行いませんでした。

新型コロナウイルスの流行で今までの生活様式が一変した年でしたが、コロナ禍の中であっても子供たちはだいちのなかで落ち着いて過ごせていました。子供たちそれぞれに成長がみられました。

そして、なによりも利用者やそのご家族、職員一同コロナに感染することもなく健康に一年を過ごす事ができました。

利用率は前年度比 40%増

○YPCレククラブ

コロナウイルス感染予防のため今年度は活動を休止させていただきました。

○その他

・昨年度より開始された厚生労働省のWAMNETを使つての「障害福祉サービス等事業所情報公表シ

システム」を改訂し公開しました。

・風の広報活動として「風のたより」を毎月発行しました。

・ホームページは年間延べ 2100 名の方が閲覧されています。「だいち」(放課後等デイサービス)については保護者へのアンケートや事業内容を検討するためのガイドラインの改訂をしました。

2. 事業実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
障害福祉サービス	・居宅介護 (身体介護・家事援助・通院介助)	随時	主に、四街道市、佐倉市、千葉市	原則として、1回1名、必要に応じては複数名派遣	ヘルパー派遣を必要とする身体障害児者、知的障害児者等 延 214 名	1,459
	・同行援護	随時	主に、四街道市、佐倉市、千葉市	原則として、1回1名、必要に応じては複数名派遣	ヘルパー派遣を必要とする身体障害児者、知的障害児者等 延 184 名	3,123
	・行動援護	随時	主に、四街道市、佐倉市、千葉市	原則として、1回1名、必要に応じては複数名派遣	ヘルパー派遣を必要とする身体障害児者、知的障害児者等 延878名	21,876
	・放課後等 デイサービス	月～土	主に、四街道市、佐倉市、千葉市	利用者数に応じて2名～5名	デイサービスを希望する高校生以下の児童だいち 延1226名	11,834
地域生活支援事業	・移動支援事業	随時	主に、四街道市、佐倉市、千葉市	原則として、1回1名、必要に応じては複数名派遣	ヘルパー派遣を必要とする身体障害児者、知的障害児者等 延 450名	3,394
タイムケアサービス	時間単位で利用者の希望に添った支援をおこなう。必要に応じて保護者に代わり、一時預かりをする	随時	主に、四街道市、佐倉市、千葉市	原則として、1回1名、必要に応じては複数名にて支援	主に、一時預かりを必要とする身体障害児者、知的障害児者等 延べ72.5時間	110
福祉有償運送(送迎サービス)	目的地までの送迎を行う	随時	主に、四街道市、佐倉市、千葉市	必要に応じて派遣	主に、送迎を希望する身体障害児者、知的障害児者等 延べ704名	729